American DJ®

REVO SCAN LED

取扱説明書

Ver. 1.00



株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ REVO SCAN LED をご購入頂き誠にありがとうございます。REVO SCAN LED は DMX 規格に対応した LED ミラースキャンです。サウンドアクティブモードでの使用が可能な他、DMX コントローラーを使って操作する事も出来ます。また、REVO SCAN LED は光の筋を見せるためにフォグマシンと組合せてご使用頂くことをお勧め致します。
本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また本書が保証書となりますので大切に保管して下さい。

基本仕様

- LED：合計 52 個、赤(16 個)、緑(12 個)、青(12 個)、白(12 個)
- ビーム角：21 度
- DMX 対応 (4DMX チャンネル)
- サウンドアクティブ機能
- ストロボ機能
- LED 寿命：100000 時間
- ヒューズ：2A
- 電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：12W
- 寸法：15.5W×15H×43Dcm、2.8kg

※製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がございます。

安全上の注意

- 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。本体に異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談下さい。
- 本体は必ず安全で、安定した場所に設置して下さい。また、電源ケーブルは踏まれたり挟まれることのないようご注意下さい。
- 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れて下さい。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
- 電源、電圧が正しい事を確認して下さい。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用下さい。また、アース端子は必ず接続して下さい。
- 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないで下さい。
- 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合保証対象外となりますので予めご了承下さい。また周囲温度が 40 度を超える環境では使用しないで下さい。
- 本体は壁から約 15cm 以上離した通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意下さい。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。ストーブ等の熱源から離してご使用下さい。
- 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意下さい。感電や火災の原因になります。
- ディマーパックからの電源供給は行わないで下さい。
- 長時間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡下さい。
メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

基本設定

DMX512

DMX512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

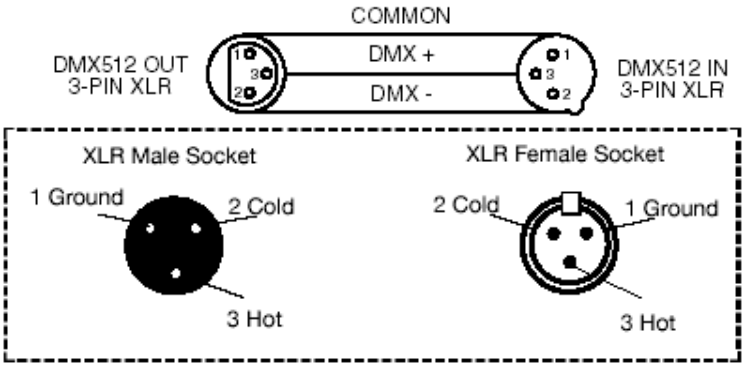
DMXデータの正確な送受信を行う為、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使い下さい。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は相関しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

REVO SCAN LED は 4 チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の裏面で設定して下さい。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照して下さい。



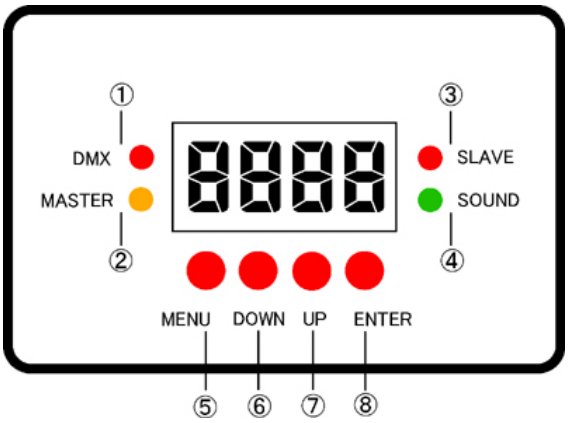
5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクターを REVO SCAN LED に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

操作メニュー

本体の設定は、ミラー上部にある操作パネルを使用します。
MENU ボタンでメインメニューに入り、UP/DOWN ボタンでメニューを探し、ENTER ボタンで決定します。UP/DOWN ボタンで任意の設定を選択し、ENTER ボタンで設定を確定して下さい。設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

操作パネル



①DMX　インジケーター
②マスターモード　インジケーター
③スレーブモード　インジケーター
④サウンドアクティブ　インジケーター
⑤MENU ボタン
⑥DOWN ボタン
⑦UP ボタン
⑧ENTER ボタン

メニュー	選択画面	機能
Addr		DMX スタートアドレスの設定
SLMd	MASt	マスター灯体に設定
	SL 1	スレーブ 1 に設定
	SL 2	スレーブ 2 に設定
bLMd	YES	ブラックアウト
	no	ブラックアウトの解除
iPAn	no	パンの正転
	i	パンの逆転
itLt	no	チルトの正転
	i	チルトの逆転
LEd	YES	ディスプレイの消灯
	no	ディスプレイの点灯
idSP		ディスプレイの正転・逆転
Fhr5		灯体の稼働時間（消去不可）
rESt		リセット

Addr

DMX アドレスの設定を行います。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『Addr』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. ディスプレイに任意の数値が表示されるまでUP/DOWNボタンを押し、ENTERボタンを押して確定して下さい。
3. 設定した数値がディスプレイに表示されるまで、MENU ボタンを長押しします。

SLNd

マスター/スレーブの設定を行います。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『SLNd』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. 『MASt』、『SL 1』、『SL 2』の内、任意の設定が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTERボタンを押して確定します。『MASt』に設定した灯体はマスター、『SL 1』に設定した灯体はマスター機と同様の動作、『SL 2』に設定した灯体はマスター機と反対の動作になります。
3. 設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

bLNd

ブラックアウトに設定できます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『bLNd』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. ブラックアウトに設定する場合には『yes』、ブラックアウトを解除する場合は『no』が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定して下さい。
3. 設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

1PAN

パンの方向を逆転させることができます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『1PAN』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. パンを正転に設定するには『no』、パンを逆転させるには『1』が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定して下さい。
3. 設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

1tLt

チルトの方向を逆転させることができます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『1tLt』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. チルトを正転に設定するには『no』、チルトを逆転させるには『1』が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定して下さい。
3. 設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

Led

ディスプレイの ON/OFF の設定を行います。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『Led』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押します。
2. ディスプレイを消灯させるには『yes』、ディスプレイを点灯させるには『no』が表示されるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定して下さい。
3. 設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。『yes』に設定した場合、しばらくするとディスプレイが消灯します。

1dSP

ディスプレイの表示を逆転させることができます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『1dSP』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンで確定すると、ディスプレイが逆転します。
2. ディスプレイを正転に戻すには、ディスプレイの表記が再度『1dSP』となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押して確定します。
3. 設定画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

FhrS

稼動時間を確認することができます。

1. MENU ボタンを押し、ディスプレイの表記が『FhrS』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押して確定すると、稼働時間が表示されます。
2. 確認画面から戻る場合は MENU ボタンを長押しします。

rESt

本体をリセットします。

メニューボタンを押し、ディスプレイの表記が『reSt』となるまで UP/DOWN ボタンで調整し、ENTER ボタンを押して確定すると、本体がリセットされます。

操作モード

・ サウンドアクティブモード ： 内蔵マイクで感知した音に反応して本体が動作します。
・ DMX モード ： DMX コントローラーで操作します。

サウンドアクティブモード

内蔵マイクで感知した音に反応して内蔵プログラムが動作します。
DMX 信号を受信していない状態の場合、自動的にサウンドアクティブモードになります。

サウンドアクティブモードで動作させる場合は、本体をマスターかスレーブに設定します。
1 台のみで動作させる場合には、MENU の『SLNd』で本体を『MASt』に設定します。
2 台以上の REVO SCAN LED を連結して動作させる場合には、本体の背面にデジタル 3 ピン XLR ケーブルを接続し、灯体を直列に連結して下さい。マスターとなる灯体が端になるようにし、マスター灯体の XLR メスに 3 ピン XLR ケーブルオスを接続します。
マスター灯体を『MASt』、マスターに同期させるスレーブ灯体を『SL 1』もしくは『SL 2』に設定してください。接続した全ての灯体がマスター灯体に同期して動作します。

『SL 1』に設定した灯体はマスター機と同様の動作、『SL 2』に設定した灯体はマスター機と反対の動作になります。
REVO SCAN LED は最大 16 台連結し同期させることができます。

サウンドアクティブモード時に本体がマスターに設定されている場合は MASTER インジケーター、スレーブに設定されている場合は SLAVE インジケーターが点灯し、音を感知した場合にはサウンドアクティブインジケーターが点灯します。

DMX モード

DMX コントローラーで操作することができます。
DMX コントローラーと REVO SCAN LED を DMX ケーブルで接続し、MENU の『Addr』で DMX アドレスを設定して下さい。DMX 信号を受信すると本体の DMX インジケーターが点灯します。設定が完了したら DMX コントローラーで REVO SCAN LED を操作して下さい。

DMX 表

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	パン
2	0-255	チルト
3		パターン/チェース
	0-9	ブラックアウト
	10-19	パターン 1
	20-29	パターン 2
	30-39	パターン 3
	40-49	パターン 4
	50-59	パターン 5
	60-69	パターン 6
	70-79	パターン 7
	80-89	パターン 8
	90-99	パターン 9
	100-109	パターン 10
	110-119	パターン 11
	120-129	パターン 12
	130-139	パターン 13
	140-149	パターン14
	150-159	パターン15
	160-169	チェース 1
	170-179	チェース 2
	180-189	チェース 3
	190-199	チェース 4
	200-209	チェース 5
	210-219	チェース 6
	220-229	チェース 7
	230-239	チェース 8
	240-249	チェース 9
	250-255	チェース 10
4	0-9	ストロボ無し
	10-249	ストロボ遅→速
	250-255	サウンドアクティブ

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。 ＜　＞内は対応期間の目安となります。

※1　メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

※2　ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用下さい。

外側のレンズ　＜一週間に一度＞

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。

内部レンズ　＜一ヶ月に一度＞

■内部レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で埃や汚れを拭き取ってください。

ファン、通気孔　＜一週間に一度＞

■ファンの動作不良、通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。ファンや通気孔に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→ファンや通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアーダスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

内部各種センサー　＜一ヶ月に一度＞

■温度センサー及び、各部位の動作状況を確認する為のセンサーに埃や汚れが付着しますと、誤動作、故障の原因となります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアーダスターやブラシで残った埃を除去して下さい。

ミラースキャンのミラー　＜一週間に一度＞

■ミラーに埃や汚れがつきますと、光が弱くなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で拭いた後、から拭きを行って下さい。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口　＜一ヶ月に一度＞

■差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアーダスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認下さい。

ネジ ＜三ヶ月に一度＞

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認下さい。

故障かな？と思ったら

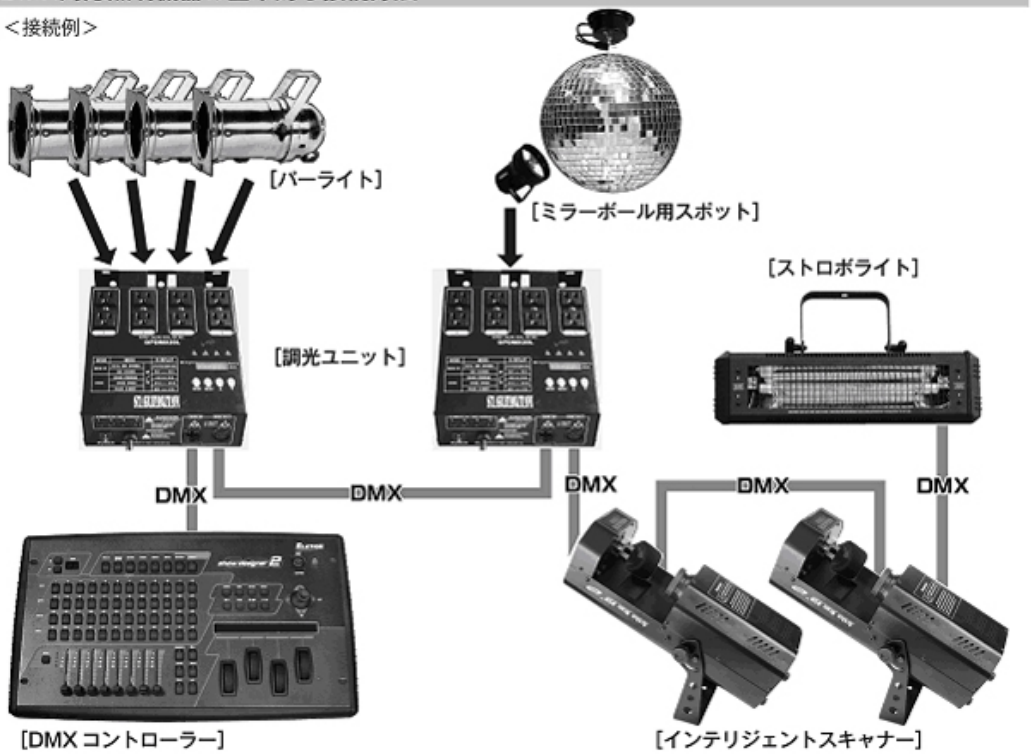
REVO SCAN LED が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認下さい。
下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせ下さい。

症状		確認事項
電源が入らない		・ 正しい電源・電圧に接続されているか ・ 電源ケーブルが損傷していないか ・ ヒューズが切れていないか
マススレーブモード時にスレーブ機が動作しない		・ 接続された複数台の REVO SCAN LED の内、1 台のみがマスター機に設定されているか
DMX で動作しない	DMX 信号インジケーターが点灯しない	・ 接続に問題がないか ・ 正常な DMX ケーブルを使用しているか
	DMX 信号インジケーターが点灯している	・ DMX チャンネルが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない		・ マスターとスレーブの設定が正しく行われているか ・ 小さい音や高音でないか

ヒューズ交換方法

1. 電源ケーブルを抜いてください。
2. 電源コードの隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーで引き出して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

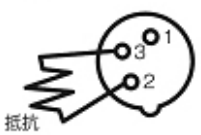
DMX対応照明機器の基本的な接続方法



・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。
・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くならない様に配線して下さい。※
・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取って下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※ー長距離の配線についてー
50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミーネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

	ターミネーターは、HOSA　DMT-414をお薦め致します。
	自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、 120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

American DJ®